

区連会 資料 4-1

旭区社協発第 315 号
令和5年10月18日

各自治会町内会長 様
広報ご担当者 様

社会福祉法人
横浜市旭区社会福祉協議会
会長 渡口 多喜男

広報紙「あさひいきいき宣言 (No. 114)」の配布について (ご依頼)

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本会事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび本会広報紙「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」114号を発行しましたので送付いたします。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ではございますが広報よこはま旭区版(11月号)とともに地区内全世帯へ配布していただきますよう、お願い申し上げます。

今後も地域のみなさまに“いきいき”としていただけるような広報紙を目指し、発行していきますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆送付部数 広報よこはま旭区版 (11月号) と同部数

担当：千葉・梅崎
電話：392-1123
FAX：392-0222

旭区ボランティアセンターだより

旭区ボランティアセンターでは、ボランティア活動の推進を通して、地域の支えあいやつながりづくりを目指しています。地域の課題に対し、ボランティアの皆様のお力を借りるとともに、「一人ひとりが活躍できる」、「心地よい居場所となる」…そんなコーディネートを目指しています。今回は、活動中のお二人とジュニアボランティアの活動をご紹介します。活動に少しでも興味・関心のある方はお気軽にご相談ください。



毎回聞いている方が飽きない選曲、工夫をしています。

齊藤容儀さんこと「ギターおじさん」

高齢施設等でギター演奏と歌の活動中

もともとバンドをしていて、勤務していた介護施設で演奏したのが始まりでしたが、もっと積極的に活動するにはボランティアセンターに登録した方がいいと思いました。お誕生日会で披露した際、自分の演奏で喜んでもらえることがとても嬉しく、ボランティア活動は生きていく上での喜び・楽しみです。

浅井絵里さん

地域ケアプラザのデイサービスで話し相手やお茶出しの活動中

もともとずっと家にいたのですが、「人の為に何かしたい」という目的を持ったら、前向きに外に出ることができました。初めは、とても緊張して何をしたらいいかわかりませんでしたが、今では「職員になったら?」と言われるくらい慣れて、楽しくてしょうがないです。ボランティア活動は自分の中で「癒し」です!



活動を通して「視野が広がった」といつも前向きです。

子どもたちも元気いっぱいボランティア!

旭区では、市立小学校5・6年生の希望者による「ジュニアボランティア」活動が行われています。毎年8月～11月の間に行う活動の一つとして、赤い羽根街頭募金に協力いただいています。

旭区独自のこの活動は20年以上続き、ジュニアボランティアから次のジュニアボランティアへと、福祉活動のバトンが渡されています。ボランティア活動をはじめのきっかけとなることも多く、地域活動への理解につながっています。



ご相談・お問い合わせ

【旭区ボランティアセンター】受付時間:月～土の9時～17時(祝日・年末年始を除く) 最新のボランティア情報はこちら▶
TEL:045-392-1133 FAX:045-392-0222 Email:asavora@ceres.ocn.ne.jp



善意銀行 善意銀行にご寄付いただいた方々
 ありがとうございます。(順不同・敬称略) 令和5年6月～8月

(金品寄付) 神奈川土建一般労働組合横浜西支部/佐々木 祥/
伊志嶺 朝之/株式会社 清光社/匿名 2件

(物品寄付) 万騎が原地区社会福祉協議会/旭ジャズまつり実行委員会/
神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部/八ッ橋 政彦/
西山 勉/匿名 5件

善意銀行とは、皆様からの善意の寄付金をお預かりし、必要とところ、または希望された区内福祉施設や当事者団体、地域福祉活動団体などへ配分し、皆様の善意を広げていく事業のことです。

発行 **社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会**
 〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35
 TEL:045-392-1123 FAX:045-392-0222
<https://www.palletasahi.jp/> 旭区社協

●アクセス●
 相鉄線「鶴ヶ峰駅」北口より徒歩8分

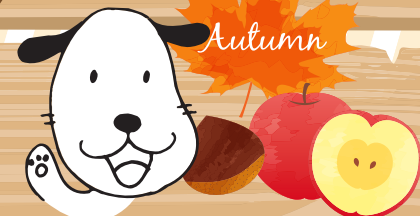
ばれっと旭 旭区社会福祉協議会

旭区社協だより No. 114

令和5年11月1日発行

あさひ 共に支えられ 生きていく

いきいき宣言



この広報紙は、「赤い羽根」共同募金の配分金で発行しています。

<https://www.palletasahi.jp/>

旭区社協



地域の子どもの育ちを応援!

子どもの居場所

旭区内には「地域の子どもの育ちを応援したい!」という気持ちで、子ども食堂・地域食堂、学習支援、フリースペース等の居場所づくりや支援活動を行う団体が約20団体あります。9月13日(水)、それらの団体間の情報交換やつながりづくりの機会として、「子どもの居場所連絡会」を初めて開催しました。

「支援が必要な子どもに来てもらうためには?」「広報活動はどうしている?」「継続的に活動していくために、仲間を増やしたい」等、活発な意見交換が行われました。

一つひとつは小さな活動であっても、地域の中に安心して過ごせる場所がたくさんあれば、家族や学校の先生以外の大人と接する機会や時間が増えていきます。旭区全体に「地域で子どもの育ちを支えよう」という思いが広がるよう、旭区社協としても取組を進めていきます。

今号では、さまざまな「子どもの居場所」の活動をご紹介します。



旭区社協の X(旧Twitter) やってます!
<http://twitter.com/asasha1123>



アカウント名は **横浜市旭区社会福祉協議会**
 旭区社協では令和3年10月1日よりX(旧Twitter)を開始しました。各職員が身近な話題や福祉に関する情報などをつぶやいていますので、ぜひフォローしてください!



食べることを楽しむ! 地域の居場所

01 らんらん食堂

主催 らんらん食堂
活動日 毎月第4日曜日
 11:00~14:00(13:30オーダーストップ)
場所 今宿地域ケアプラザ

らんらん食堂は令和4年6月より地域を限定せず「大人も子どももどなたでも」をモットーに始めました。毎月オープン前から、ランチやお喋りを楽しみにしている方々が大勢集まります。食材は、遠く北海道や新潟の「らんらん食堂」を応援して下さるスポンサーから毎月、北の大地の新鮮な野菜や子ども達へのお土産のお菓子が沢山届きます。

8月のメニューは夏野菜カレーと、前日に準備の様子を見学する「バックヤードツアー」に参加した子どもたちと一緒に作った看板メニューの特製アップルパイでした。また、食後に誰でも楽しめる「工作コーナー」では交流や創作の時間として工夫を凝らした活動がされていました。



おいしいご飯を食べた後は
 工作を楽しめます



地域の方が集える 居場所

02 Minnade

主催 ホームタウンみなみMinnade
活動日 毎月第3金曜日 16:30~18:30
場所 生活クラブ生協旭センター内3階

作る人も、食べに来た人も
 みんな一緒に食事をします。



みんなで和気あいあいと
 作っています!

Minnadeは「地域でつながる場を作りたい」という想いから、令和5年1月に活動を開始しました。使用する食材の多くはフードバンクかながわからの提供や、旭センターに届いた寄付でまかなわれています。子どもから大人まで、幅広い世代が集える場を目指しています。

習い事の帰りに親子で来る方、チラシを見た地域の方も来られています。食堂の開始前の時間にはフードパントリー(※)の活動も実施しています。

どのような方も「個性として受け入れ、垣根を作らない」ことを大切に活動しています。「相談」ではなく、「会話」をすることを意識し、何気ない普段の会話から、つながり作りを目指しています。

(※)食の支援が必要な方に寄付等で受け取った食料をお渡する活動

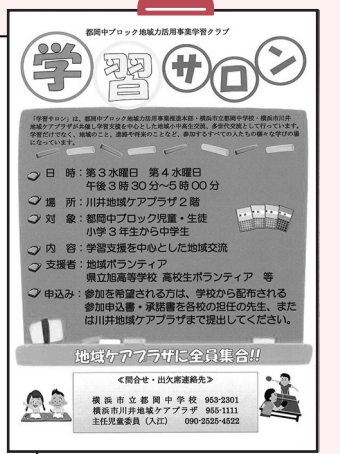
03 地域の小中高生交流の場 学習サロン



主催 都岡中ブロック地域力活用事業推進本部、横浜市立都岡中学校、横浜市川井地域ケアプラザ 協力:川井地区民生委員児童委員協議会
活動日 毎月第3・第4水曜日 15:30~17:00(学校長期休み期間は休止)
場所 川井地域ケアプラザ

『学習サロン』の開催日には、地域ケアプラザの多目的ホールに卓球台と勉強机が並び、子ども達のにぎやかな声がしています。卓球などのリフレッシュ活動をした後、宿題などの学習活動に取り組むことで子どもたちの集中力が高まるそうです。民生委員・児童委員をはじめとする地域ボランティアと県立旭高等学校の高校生ボランティアが子どもたちの学習を見守ります。

学習だけではなく、学年や学校の違う子どもと一緒に遊んだり、高校生や地域の大人とのふれあいを通して様々な学びの場になっています。



04 安心して居られ、自分の可能性を伸ばせる居場所 soil子どもの居場所

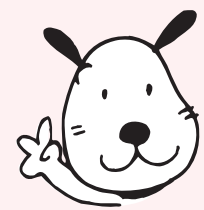
主催 NPO法人ハートフルポート **活動日** 毎週火・水曜日 14:00~18:00他
場所 ハートフル・ポート
 (活動内容により異なります。ホームページをご確認ください)



ボランティアさんと遊ぶ子ども、
 友達同士で遊ぶ子どももいます



まずは宿題を
 やってから遊びます



「コロナ禍で学校に行きづらさを感じる子どもたちが増えている。安心して居場所が必要」という声を学校の先生からもらったことをきっかけに活動を開始。ここでは、学校に行っている子どもだけではなく、誰が来ても、何をしてもOK。宿題をやったら遊ぶなど自分たちで決まりを作ったり、その場にいる全員でゲームを楽しんだり、絵を描く子がいたり。本人が安心して居られ、好きなことや得意なことを引き出せるように、スタッフの皆さんが声かけしています。

「soil」の活動参加を通して、自分に自信がついて一歩踏み出せた子どももいたそうです。近隣で子どもの居場所活動に取り組んでいる団体とのネットワークも作っています。

※紹介した4団体の活動日は、変更になる場合があります。事前にご確認ください。

旭区社協子どもの未来応援助成金のご案内

身近な地域での子ども食堂、学習支援、居場所づくり等、旭区の子どもの育ちを支援するために実施する事業について助成を行っています。詳細は、本会ホームページをご確認ください。

